

元清澄山ツガ・ヒメコマツ遺伝資源希少個体群保護林 希少-82

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 千葉森林管理事務所
所在地	千葉県 君津市
面積	170.29 ha
設定年	1990(H2)年 4月
保護林の概要 (設定目的)	房総半島においては数少ない、モミ、ツガを主体とし、カシ類等の暖温帯性植物が混生する天然林である。また、林内にはヒメコマツやキヨスミツバツツジ等が自生しており、植物分布上及び学術上貴重である。このため、モミ、ツガを主体とし、ヒメコマツ、キヨスミツバツツジを含む群落の希少な個体群を保護するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2008年、2013年、2018年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、モミ・ツガ・カシ類混交群落の生育地において調査プロットを1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。ヒメコマツおよびキヨスミツバツツジの生育状況についても調査。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	保護対象種であるモミ・ツガ・カシ類については、特に問題は見られず、生育は良好な状態であるが、ニホンジカの食害による下層植生の植被率の減少を確認した。今後もニホンジカ及びキョンによる被害状況、保護群落の維持、林床に生育する保護対象種をはじめとした植生の生存量、生育状況に留意する必要がある。また、ヒメコマツの病虫害(松くい虫によるマツ枯れ)にも留意が必要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。